



平成14年 3月 5日

各 位

会 社 名 アジア パシフィック システム総研 株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 木 庭 清
役 職 名
(登 録 銘 柄 コ ー ド 番 号 4 7 2 7)
問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 佐 藤 秀 行
T E L 0 3 - 3 9 8 5 - 4 3 1 1

コンパクトコンピュータ株式会社とのS I サービス事業全般での戦略提携と プライムS Iパートナー契約締結のお知らせ

弊社は、コンパクトコンピュータ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高柳 肇）と既にシステムインテグレーション（S I）事業分野でのパートナーシップ契約を締結しておりますが、このたびさらなる強化を図るため、戦略的提携を締結いたしました。

提携内容は、S I商談の獲得から実際のソフトウェア開発、さらにはその後の運用・保守に至る一連の事業全般にわたるものです。

コンパクトコンピュータ株式会社は現在売上の約半分を占めるサービス事業のさらなる拡大を目指しており、そのためにはソフトウェアパートナーとの関係強化が必須と判断して、弊社と提携するものであり、将来的には弊社に資本参加も行なう計画です。

今回の提携に基づく弊社の役割は下記のとおりです。

- 1) コンサルティング、ソリューション企画への参画
- 2) プリセールスへの参画
- 3) スモールビジネスセンター（S B C：仮称）を設立し、システム開発だけでなくS I商談の獲得も含めて一括受注体制を確立
- 4) コンパクトコンピュータ株式会社のシステム専用の運用・保守センターを設立、運用保守サービスを一括受注

詳細につきましては次頁以降をご参照下さい。

以 上

平成 14 年 3 月 5 日

報道関係者各位

コンパックコンピュータ株式会社
アジアパシフィックシステム総研株式会社

**SE リソースを安定確保し、サービス事業拡大
コンパックがアジアパシフィックシステム総研とSI サービス事業全般で戦略提携
- 金融、流通、製造業のプロジェクトにフォーカス -**

コンパックコンピュータ株式会社（本社：東京都品川区、社長：高柳 肇）は SI サービス事業を強化するため、独立系の情報処理サービス事業者であるアジアパシフィックシステム総研株式会社（本社：東京都豊島区、社長：木庭 清、以下：ASPAC）と戦略的提携を締結したことを発表します。提携内容は SI 商談の獲得から実際のソフトウェア開発、さらにはその後の運用・保守に至る一連の事業全般にわたるものです。

コンパックは現在売上の約半分を占めるサービス事業のさらなる拡大を目指しており、そのためにはソフトウェア開発パートナーとの関係強化が必須と判断、第一弾として ASPAC と提携するもので、将来的には ASPAC に資本参加も行う予定です。コンパックは今後も安定的なソフトウェア開発リソースを確保するため、2002 年度中には数社の情報処理サービス会社と戦略パートナーとして同様の提携を進める計画です。

今回の提携に基づく ASPAC の役割は下記の通りです。

- 1) コンサルティング、ソリューション企画への参画
- 2) プリセールスへの参画
- 3) 「スモールビジネスセンター」（仮称）を設立し、システム開発だけでなく SI 商談の獲得も含めて一括受注体制を確立
- 4) コンパックのシステム専用の運用・保守センターを設立、運用・保守サービスを一括受託

ASPAC は 30 年以上の歴史を持つ独立系情報サービス会社で、特に金融や流通、製造業などの汎用系、基幹系システム開発で多くの実績を有しています。コンパックは今後サービス事業の柱として注力しているこれらの分野において、ASPAC の強みを生かせるものと考えています。またコンパックは今後、SI サービス事業においては大規模プロジェクト案件にフォーカスし、ASPAC はここで手薄になる中小規模プロジェクト案件の商談から開発、運用、保守を主体的に担当します。これによって、よりきめ細かなソフトウェア開発、運用・保守体制が確立できます。

IT 業界では従来のハードウェア・ビジネスに加えて、最適なソリューションを提供するためソフトウェアやサービス分野へのニーズが高まっています。コンパックは従来からサービス&サポートの分野では数多くのエンジニアを擁し、豊富な実績を積んできました。しかし、今後さらにお客様からのニーズが増大し、毎年数千人規模でソフトウェア開発人材が不足することが予測されることから、特定の情報処理サービス会社との提携戦略に踏み切ったものです。

今回の提携によって、コンパックは SE リソースを安定的に確保できると同時に、協業で培ったノウハウを蓄積することでお客様にさらに付加価値を提供し、顧客満足度の向上を実現できます。またコンパックの ZLE^注をはじめとするソリューションと ASPAC のノウハウや SE 力を組み合わせて相乗効果を発揮する提案活動を展開できます。

一方 ASPAC は、コンパックが保有する優良顧客へのビジネス機会を得るとともに、スマートフォンビジネス、運用・保守などを補完することでビジネスの拡大を図ることができます。

また今回の提携に基づき、コンパックは独自のソフトウェア開発方法論「OpenmindS」を ASPAC に提供します。OpenmindS はソフトウェア開発の定義から運用までを一貫した方法論でサポートするもので、ASPAC はコンパックと同様の手法で開発を進めることが可能となります。これによって、ASPAC はコンパックと同様の均質なソフトウェア開発が実現できます。

コンパックコンピュータ株式会社について

コンパックコンピュータ株式会社はFortune誌のグローバル100社に選ばれたエンタープライズテクノロジーおよびソリューションの大手グローバル・プロバイダであるコンパック・コンピュータ・コーポレーション（「コンパック」）の日本法人です。業界をリードするエンタープライズ・ストレージおよびコンピューティング・ソリューション、ビジネス・クリティカルなフォールトトレラント・ソリューション、通信製品、デスクトップPCやノートPCをはじめとするハードウェア、ソフトウェア、ソリューション、及びサービスをお客様にご提供する、トータルなソリューションパートナーです。

<http://www.compaq.co.jp/>

【設立】1982年9月24日

【本社】東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

【代表取締役社長】高柳 肇（たかやなぎ はじめ）

【資本金】178億400万円

【事業内容】コンピュータ製造・販売・サービス・サポート・システム構築

アジアパシフィックシステム総研株式会社について

アジアパシフィックシステム総研株式会社は、30年以上の歴史を有する独立系ソフト開発ベンダーで金融、製造流通業界を中心に汎用系、業務系、基盤系のノウハウを有しています。汎用系ノウハウを早い時期からWebビジネスに生かすことに取り組み、数々のホスト連動インターネットサイトの構築に貢献しています。またEJB（Enterprise Java Beans）、COM（Component Object Model）等によるコンポーネント化、再利用技術に対しても早い時期より取り組みノウハウを蓄積しています。

<http://www.asia.co.jp/>

【設立】1970年4月22日

【本社】東京都豊島区目白 1-4-25

【社長】木庭 清（こば きよし）

【資本金】9億1,806万円

【事業内容】コンサルティング事業、アウトソーシング事業、マルチメディア事業、システム開発事業、ネットワーク事業など、フルラインアップ体制にて“成長企業のシステム技術パートナー”として企業情報戦略をサポート

注) ZLE：Zero Latency Enterprise の略。コンパックが提唱するコンセプトで、日本語では無遅延型システム統合。企業内の各業務アプリケーションや情報システムをEAIなどによって統合するとともに、個々のアプリケーションで発生したデータを全社規模のデータベースでリアルタイムに更新するソリューション。

<登録商標>

- ・ 社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

報道機関からのお問い合わせ先:

コンパックコンピュータ株式会社
広報部 河本えり子、三沢なをみ
TEL:03-5463-8570
JPN_PR@jp.compaq.com

アジアパシフィックシステム総研株式会社

管理本部 佐藤秀行、山田浩司
TEL:03-3985-4311
info@asia.co.jp
紙誌面には掲載しないでください。

一般からのお問い合わせ先:

コンパックコンピュータ株式会社
システム統括本部ビジネス推進管理本部
パートナー協業推進部
TEL:03-5349-3909
ホームページ : <http://www.compaq.co.jp/>

アジアパシフィックシステム総研株式会社

I R 担当
TEL:03-3985-4311
ホームページ : <http://www.asia.co.jp/>